

歴女がゆく

重要文化財

長野神社本殿

室町時代

発見！私のイチ押しパワースポット VOL. 6

コンパクトに感じる本殿ですが、風格ある行まいは心を落ち着かせてくれます。

見どころ ZOOM UP! +

扁額

長野神社本殿の扁額には、「長野神社」と書かれており、市域にあった河内西代藩の藩主・本多忠統の子孫、神戸藩主・本多忠廉の筆によるものとされている。

境内を撮影させていただきたくのできちんとご挨拶しましょう。

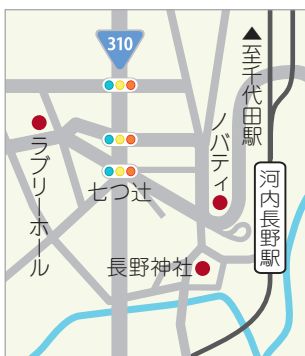
周辺には、土壁の風合いの美しい高野街道が広がっています。

この神社が長野神社と呼ばれるようになったのは、明治初期からで、江戸時代以前は「木屋堂宮」あるいは「牛頭天王宮」と呼ばれていました。「木屋堂」とは、長野神社付近にあったかつての町の名前であり、鎌倉時代や室町時代に栄えていたようです。なお、同神社では1月10日に長野戎、10月の秋祭りには松明立神事が行われます。

長野神社本殿は、一間社流造で檜皮葺の屋根をのせており、正面に千鳥破風と軒唐破風をあげています。室町時代の終わり頃にあたる天文18年(1549)に建てられた観心寺鎮守社との類似性から、本建築物もこの頃に建てられたものと考えられます。

文化財トリビア ⑥ 貴重な巨木

境内やこの周辺には巨木が多く生育しており、駅前のにぎやかな街中において、神社周辺は静かな雰囲気を保っています。境内には、府指定天然記念物である長野神社のかやのき(右写真)が、また、周辺には市指定天然記念物の吉年邸のくすのきがあります。



河内長野駅から南へ徒歩5分

※「歴女がゆく」は今回で終了します。ご愛読ありがとうございました。

今月の歴女

池川祐香里さん

清閑な雰囲気、長野神社のまわりには昔情緒あふれる街並みが広がっていてカメラを持って歩くにはぴったり。身近に歴史・文化・自然の息づく長野神社は地元の人たちに愛される場所だと実感しました。



発行/河内長野市 編集/総合政策部都市魅力戦略課 発行日/平成26年9月1日
市役所/〒586-8501 大阪府河内長野市原町一丁目1番1号
☎ 0721-53-1111(代) FAX 56-1761 ☎ 54-1000(留守番電話)



広報かわちながの

平成26年(2014年)9月号(No.1091)

ホームページ <http://www.city.kawachinaganoh.jp> Eメール info-kw@city.kawachinaganoh.jp
お知らせ電話で休日急病診療所の日程などを24時間案内中 ☎ 0120-930-073
市役所開庁日時/月～金曜日午前9時～午後5時30分(祝休日、年末年始を除く)

☆この広報紙は4万8400部作成し、1部あたりの単価は24円です。毎月4日までに広報紙が届かない場合は、配送業者=株ダイコク(☎0120-603-912、土曜・日曜・祝日を除く)へ。